

もくじ

えび人 vol.78	2	相談	11
今号の表紙	3	図書館	12
えびな健康マイレージ2024	5	子育て・HUGHUG赤ちゃん	14
文化会館・市民ギャラリー	10		

「広報えびな」の共通マークとルール  
 日日時・日にち 期間 時間 場所 対象 定員  
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期  
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ  
 申し込み 予約制 祝日を除く 休み  
 高齢者対象の教室など えびな健康マイレージ対象  
 市外局番…省略している場合はすべて「046」です  
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」が届きます  
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな



海老名の大地を想像しながら書きました。  
 中新田小学校 大山蒼葉さん(10歳)

写真

タイトル：田んぼに映る海老名  
 撮影場所：海老名高校付近  
 撮影者：中新田在住  
 島村風海さん



編集雑記

本誌のリニューアルから半年がたちました。全ての人に満足をお届けすることは難しいですが、不必要なこだわりを見直してみたり、新しいことを取り入れてみたり。「えび人」に協力いただく方は心も体も身軽な人が多い印象です。何事も棚卸しのような整理をすることから、新たな発見や宝が見つかるような気がしました。(あ)



(写真上)「当時は何もなくて。まさか長く住むなんて」。引っ越してきた頃を振り返る  
 (写真中) 地区社協が豆腐屋の跡地を改修した「いこいの場戸崎」は地域の居場所  
 (写真下) 15年間続くふれあいサロン。みんなに会える何気ない日々が楽しみ



人とのつながりが私の財産

「物事にあまり執着しなくなった」とカラッと話す森川さん。できることを最小限にし、毎日身ひとつで東奔西走しています。人見知りでも出無精だった性格が一変、活動的になったのは抽選で役員になったPTA活動の体験から。「その時に何も手につかないほど落ち込むようなことを言われてね。でも味方もいた。応援してくれる人の支えがあったからやってみる事ができたの」。その頃の仲間は今も続きます。けがのない存在。「人が財産」と言います。

PTA活動をきっかけに他の活動や人とのつながりが広がり、森川さんの人生も変わりました。「みんなと一緒に何かをやり遂げるのが楽しい。きつと、あの時逃げなかったから今があるのよね」と力強く話します。大病や介護の経験から思いやりと学びの姿勢を持ち、自らが支えとなって、みんなの居場所作りを考える森川さん。今日も明日もスケジュールはいっぱいです。

今月のえび人

もりかわのりこ  
 森川紀子さん  
 (国分寺台在住・83歳)

昭和44年に海老名に転入。民生委員・児童委員として長年活動し、市内最初の地区社協「国分寺台地域福祉協議会」の立ち上げに尽力。大の読書好き。